



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 1/5

図書館の時代	四六判上製／384頁 定価（本体価格2400円+税） 1980年12月刊  ISBN978-4-8460-0163-6	近代図書館を創った人々は、市民社会を導き出した人々と同じ系譜にある。知識は革命の源泉であり、図書館はその宝庫であった。現代の諸変革も、図書館を中心とすることを、社会史の視座より主張する。	冊
出版業界の危機と社会構造	四六判上製／288頁 定価（本体価格2000円+税） 2007年11月刊  ISBN978-4-8460-0771-3	『出版社と書店はいかにして消えていくか』『ブックオフと出版業界』の2冊の後をうけ2001～07年の業界の動きを克明に追いながらその危機をもたらす歴史的な背景を活写する！ 図版50余点。	冊
出版社と書店はいかにして消えていくか	四六判上製／277頁 定価（本体価格2000円+税） 2008年3月刊  ISBN978-4-8460-0773-7	再販=委託制に基づく近代出版流通システムは明治期よりどのように形成され、成長したのか？ 多くの資料を読み解き、その歴史と現在の崩壊過程を克明にたどり、危機の構造を立体化する。	冊
ブックオフと出版業界	四六判上製／278頁 定価（本体価格2000円+税） 2008年5月刊  ISBN978-4-8460-0774-4	海外出店、他資本との提携、そして9月株式公開。総店舗数は500に。書店、出版社、取次、古書店……苦悶する出版業界を尻目に、ブックオフはなぜ膨張し続けるのか？ ブックオフ・ビジネスの実像。	冊
出版販売試論 ——新しい流通の可能性を求めて	四六判上製／176頁 定価（本体価格2000円+税） 2010年6月刊  ISBN978-4-8460-0873-4	明治以来の出版販売史を「過渡期」から「変革期」へと辿った著者は、「責任販売制」の実際を検証しつつ、今日的課題である「返品問題」解消のため独自の「取扱マージン制」の導入を提案する。	冊
書肆紅屋の本 ——2007年8月～2009年12月	四六判並製／338頁 定価（本体価格2000円+税） 2010年7月刊  ISBN978-4-8460-0876-5	お気に入りのトークショーに駆けつけて、詳細なレポートに仕上げ、新刊を求めて巷に遊び、一箱古本市、みちくさ市で本を売り、超格安な古本を追い関西へ向かう。本に魅せられた至福の日々！	冊
戦後出版史 ——昭和の雑誌・作家・編集者	A5判上製／462頁 定価（本体価格3800円+税） 2010年12月刊  ISBN978-4-8460-0881-9	単行本や雑誌は、誰によって、どのように作られ、どう読まれたのか？ 数百人の出版人にフィールド・ワークをおこない、貴重なエピソードを積み重ねた本書は、“戦後出版”の長編ドラマである。戦後出版界40年の興亡史。	冊
古雑誌探究	四六判上製／240頁 定価（本体価格2500円+税） 2009年5月刊  ISBN978-4-8460-0894-9	古本屋で見つけた古雑誌——。『改造』『太陽』『セルバン』『詩と詩論』『苦楽』などなど一から浮かび上がってくる、数々の思いがけない事実は、やがて一つの物語となって昇化する。	冊
グーグル日本上陸撃退記 ——出版社の権利と流対協	四六判並製／264頁 定価（本体価格1800円+税） 2011年12月刊  ISBN978-4-8460-1076-8	2009年春に突然出版界を襲った「グーグルブック検索和解案」に唯一オプトアウト＝離脱を表明した流対協会長によるグーグル騒動始末記。国立国会図書館問題・著作隣接権にも言及。	冊
貧乏暇あり ——札幌古本屋日記	四六判並製／336頁 定価（本体価格1800円+税） 2012年12月刊  ISBN978-4-8460-1205-2	これが末端古本屋の現実！？ 業界歴30年、本音を語ります。古本市、稀覯本、詩集、酒、バイト、インコ……ネット古書店主による綱渡りの生態記録。	冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 2/5

<p><b>出版とは闘争である</b></p> <p>西谷能英 著</p>	<p>四六判並製／256頁 定価（本体価格2000円+税） 2015年4月刊 ISBN978-4-8460-1425-4</p>	<p>出版業界の衰退がいわゆる今日、本作りの主体である〈編集者〉の在り方と〈出版人〉の果たすべき役割を〔出版文化再生〕ブログで問い続ける著者の辛口エッセイ集。</p>	<p>冊</p>
<p><b>編集者の生きた空間</b> ——東京・神戸の文芸史探検</p> <p>高橋輝次 著</p>	<p>A5判並製／328頁 定価（本体価格2700円+税） 2017年5月刊 ISBN978-4-8460-1596-1</p>	<p>古本との出逢いで紡ぐ編集者像とは——。第三次「三田文学」、河出書房、中央公論社、そして関西のエディション・カイエ、「航海表」などに関わった編集者の喜怒哀楽の数々を、古本との奇妙な出逢いを通して語る!</p>	<p>冊</p>
<p><b>風から水へ</b> ——ある小出版社の三十五年</p> <p>鈴木宏 著</p>	<p>四六判上製／384頁 定価（本体価格3000円+税） 2017年6月刊 ISBN978-4-8460-1597-8</p>	<p>〈書肆風の薔薇〉から〈水声社〉へ。編集者・経営者として過ごした35年間の、さまざまな人と本との忘れがたい出会い……。小出版社の現状に関心を寄せる人々に向けて語り、書いた、内側からの「現状報告」の書。</p>	<p>冊</p>
<p><b>出版の崩壊とアマゾン</b> ——出版再販制度〈四〇年〉の攻防</p> <p>高須次郎 著</p>	<p>四六判上製／336頁 定価（本体価格2200円+税） 2018年11月刊 ISBN978-4-8460-1754-5</p>	<p>出版の危機と再生への道を模索する！ 出版界は出版再販をかりうじて守ったが、電子書籍やアマゾン対応などで失敗し、敗戦前夜のような事態を迎えている。出版再販擁護の論陣を張る著者の闘いの記録。</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く1 <b>「今泉棚」とリプロの時代</b></p> <p>今泉正光 著</p>	<p>四六判並製／186頁 定価（本体価格1600円+税） 2010年9月刊 ISBN978-4-8460-0878-9</p>	<p>1980年代、池袋で“リプロ”という文化が出現し「新しい知のパラダイム」を求めて多くの読書人が集った。「今泉棚」はその中心にあつて、今日では伝説となっている。伝説の「今泉棚」、誕生から消滅までを語る!</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く2 <b>盛岡さわや書店奮戦記</b></p> <p>伊藤清彦 著</p>	<p>四六判並製／184頁 定価（本体価格1600円+税） 2011年2月刊 ISBN978-4-8460-0885-7</p>	<p>80年代の後半、新宿・町田の山下書店で、雑誌・文庫の売り上げを急激に伸ばし、90年代に入り、東北の地・盛岡に“この人あり”と謳われた名物店長の軌跡。</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く3 <b>再販／グーグル問題と流対協</b></p> <p>高須次郎 著</p>	<p>四六判並製／216頁 定価（本体価格1600円+税） 2011年3月刊 ISBN978-4-8460-0888-8</p>	<p>雑誌『技術と人間』のあと、82年「緑風出版」を設立した著者は、NRに加盟、流対協にも参画し、出版業界の抱える問題とラディカルに対峙する。</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く4 <b>リプロが本屋であったころ</b></p> <p>中村文孝 著</p>	<p>四六判並製／200頁 定価（本体価格1600円+税） 2011年5月刊 ISBN978-4-8460-0889-5</p>	<p>再販委託制は歴史的役割を終えている。本を売ることもひとつの想像力である。芳林堂書店、リプロ、ジュンク堂書店を経て、2010年にブックエンドLLPを立ち上げた著者の出版を巡る物語。</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く5 <b>本の世界に生きて50年</b></p> <p>能勢仁 著</p>	<p>四六判並製／216頁 定価（本体価格1600円+税） 2011年7月刊 ISBN978-4-8460-1073-7</p>	<p>リアル書店の危機とその克服策。千葉の書店「多田屋」に勤めた著者は、「平安堂」でフランチャイズビジネス、創業期の「アスキー」で出版社、「太平洋」で取次と、出版業界を横断的に体験する。</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く6 <b>震災に負けない古書ふみくら</b></p> <p>佐藤周一 著</p>	<p>四六判並製／200頁 定価（本体価格1600円+税） 2011年9月刊 ISBN978-4-8460-1074-4</p>	<p>著者の出版人人生は取次でのバイトから始まり、図書館資料整備センター、アリス館新社、平凡社出版販売へと本へのこだわりは続き、郡山商店街に郷土史中心の古書ふみくらが誕生!</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 3/5

<p>出版人に聞く7 営業と経営から見た筑摩書房</p> <p>菊池明郎 著</p>	<p>四六判並製／208頁 定価（本体価格1600円+税） 2011年11月刊 ISBN978-4-8460-1077-5</p>	<p>1971年に筑摩書房に入社、80年、更生会社としての再スタート時に営業幹部、99年には社長に就任。在籍40余年の著者が筑摩書房の軌跡を辿り、新しい出版理念として時限再販を提言。</p>	冊
<p>出版人に聞く8 貸本屋、古本屋、高野書店</p> <p>高野肇 著</p>	<p>四六判並製／216頁 定価（本体価格1600円+税） 2012年7月刊 ISBN978-4-8460-1161-1</p>	<p>1950年代に日本全国で「貸本」文化が興隆する。60年代には「古本」文化へ移行するが、その渦中を生きた著者による古本文化論。貸本屋が3万店をこす時代もあった！『神奈川古書組合35年史』編纂で学んだこと。</p>	冊
<p>出版人に聞く9 書評紙と共に歩んだ五〇年</p> <p>井出彰 著</p>	<p>四六判並製／192頁 定価（本体価格1600円+税） 2012年12月刊 ISBN978-4-8460-1197-0</p>	<p>1968年に『日本読書新聞』に入社した著者は、三交社などを経て、88年には『図書新聞』編集長となる。多くのエピソードをもって語る、書評紙の編集と経営の苦闘の日々。戦後の書評紙の世界を照射する。過ぎた昔も過ぎゆく今も、書評紙のなかにある。</p>	冊
<p>出版人に聞く10 薔薇十字社とその軌跡</p> <p>内藤三津子 著</p>	<p>四六判並製／184頁 定価（本体価格1600円+税） 2013年3月刊 ISBN978-4-8460-1224-3</p>	<p>1962年に新書館で「フォア・レディース」シリーズの企画を担当、天声出版からリトルマガジン『血と薔薇』を創刊。1969年に薔薇十字社、出帆社へとその歩みは続く。三島由紀夫・寺山修司・渋澤龍彦らと伴走した日々。伝説の女性編集の軌跡を辿る。</p>	冊
<p>出版人に聞く11 名古屋とちくさ正文館</p> <p>古田一晴 著</p>	<p>四六判並製／200頁 定価（本体価格1600円+税） 2013年9月刊 ISBN978-4-8460-1272-4</p>	<p>学生時代から映画の自主上映にかかわった著者は、1974年、ちくさ正文館にバイトで入社、78年社員。それ以後40年にわたり、文学好きな経営者のもと、名古屋に古田あり、と謳われた名物店長となる。</p>	冊
<p>出版人に聞く12 『奇譚クラブ』から『裏窓』へ</p> <p>飯田豊一 著</p>	<p>四六判並製／216頁 定価（本体価格1600円+税） 2013年12月刊 ISBN978-4-8460-1288-5</p>	<p>三島由紀夫や渋澤龍彦が愛読した雑誌の全て。廃刊後の今なお熱狂的なファンをもつ雑誌の全貌が、一投稿作家から『裏窓』編集長になった著者によって初めて語られる。遺著として残されたアブノーマル雑誌出版史！</p>	冊
<p>出版人に聞く13 倶楽部雑誌探究</p> <p>塩澤実信 著</p>	<p>四六判並製／216頁 定価（本体価格1600円+税） 2014年3月刊 ISBN978-4-8460-1318-9</p>	<p>昭和の初期および戦後の一時期に大衆文学の隆盛をもたらした倶楽部雑誌は1960年代の中間小説雑誌の勃興とともにその姿を消した。倶楽部雑誌とは何だったのか。初めて語られる倶楽部雑誌の世界。</p>	冊
<p>出版人に聞く14 戦後の講談社と東都書房</p> <p>原田裕 著</p>	<p>四六判並製／224頁 定価（本体価格1600円+税） 2014年8月刊 ISBN978-4-8460-1338-7</p>	<p>“出版芸術社”運営に携わる著者の1946年講談社入社から始まる出版人生。卒寿を迎えた現役出版人が語る、知られざる戦後出版史の一側面と国内ミステリー誕生の証言</p>	冊
<p>出版人に聞く15 鈴木書店の成長と衰退</p> <p>小泉孝一 著</p>	<p>四六判並製／200頁 定価（本体価格1600円+税） 2014年9月刊 ISBN978-4-8460-1360-8</p>	<p>人文専門取次“鈴木書店”、50年の証言！ 敗戦直後から今日までの流通ルート『出版社一取次一書店』、その実像が初めて語られる。2001年の鈴木書店倒産後、10年にして思う事。</p>	冊
<p>出版人に聞く16 三一新書の時代</p> <p>井家上隆幸 著</p>	<p>四六判並製／208頁 定価（本体価格1600円+税） 2014年12月刊 ISBN978-4-8460-1379-0</p>	<p>1958年に三一書房に入社し、73年に退社した著者は、60年安保闘争や70年の大学闘争に「三一新書」の編集者として対峙する。左翼と「三一新書」の蜜月時代の軌跡を辿りながら、新書の先駆けとなった「三一新書」の全貌を明らかにする。</p>	冊



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 4/5

<p>出版人に聞く17 『週刊読書人』と戦後知識人</p> <p>植田康夫 著</p>	<p>四六判並製／200頁 定価（本体価格1600円+税） 2015年4月刊 ISBN978-4-8460-1415-5</p>	<p>1962年に『週刊読書人』編集部に入った著者は、安保闘争後の60年代、三島由紀夫・大宅壮一の死に始まる激動の70年代を編集者として疾走した！ 書評紙と知識人が同伴していた時代を語る。</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く18 小学館の学年誌と児童書</p> <p>野上暁 著</p>	<p>四六判並製／232頁 定価（本体価格1600円+税） 2015年8月刊 ISBN978-4-8460-1456-8</p>	<p>1967年に小学館へ入社した著者は、学年誌を皮切りに、童話・子ども百科・文芸書の編集者として手腕を発揮し、やがて児童文学者としても活躍場を広げていった。戦後の子どもの遊びから学年誌、児童文学を語る、『小学一年生』から見た戦後出版史。</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く19 弓立社という出版思想</p> <p>宮下和夫 著</p>	<p>四六判並製／224頁 定価（本体価格1600円+税） 2015年11月刊 ISBN978-4-8460-1489-6</p>	<p>徳間書店を退社した著者は1972年に弓立社、吉本隆明の講演集『敗北の構造』を刊行して出版業界へ鮮烈に登場した。投げ込み冊子『風信』と弓立社の理念とは。吉本隆明と伴走した小出版社の軌跡を語る。</p>	<p>冊</p>
<p>出版人に聞く20 『暮しの手帖』と花森安治の素顔</p> <p>河津一哉・北村正之 著</p>	<p>四六判並製／200頁 定価（本体価格1600円+税） 2016年10月刊 ISBN978-4-8460-1573-2</p>	<p>1957年と69年に暮しの手帖社に入社した2人は、1978年の花森の死去直前まで、90万雑誌『暮しの手帖』で編集者として薫陶を受ける。NHK連続テレビ小説『とと姉ちゃん』が描かなかった花森安治の実像と背景に迫る！</p>	<p>冊</p>
<p>古本探究</p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／264頁 定価（本体価格2500円+税） 2009年2月刊 ISBN978-4-8460-0700-3</p>	<p>古本を買うことも読むことも出版史を学ぶスリリングな体験。これまで知られざる数々の物語を“古本”に焦点をあてることで白日のもとに照らし出す異色の近代＝出版史・文化史・文化誌！</p>	<p>冊</p>
<p>古本探究Ⅱ</p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／272頁 定価（本体価格2500円+税） 2009年8月刊 ISBN978-4-8460-0900-7</p>	<p>古本をめぐる冒険。これまで知られざる数々の物語を“古本”に焦点をあてることで白日のもとに照らし出す異色の近代＝出版史・文学史・文化誌。</p>	<p>冊</p>
<p>古本探究Ⅲ</p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／296頁 定価（本体価格2800円+税） 2010年1月刊 ISBN978-4-8460-0912-0</p>	<p>独学者・日置昌一の『話の大事典』に端を発し、出版経営、近代文学、翻訳小説、民俗学、英国心霊研究協会、大本教、柳田国男の郷土会から社会学へと連鎖する、戦前の“知”を横断する！ 連鎖する22の物語。</p>	<p>冊</p>
<p>出版状況クロニクル</p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／240頁 定価（本体価格2000円+税） 2009年5月刊 ISBN978-4-8460-0861-1</p>	<p>出版業の推移と展望。『出版業界の危機と社会構造』に続いて2007年8月～09年3月までの「出版状況」を、関連する業界の動向を踏まえて、横断的にまとめた後、その危機の実態を分析する！</p>	<p>冊</p>
<p>出版状況クロニクルⅡ ——2009.4～2010.3</p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／336頁 定価（本体価格2000円+税） 2010年7月刊 ISBN978-4-8460-0875-8</p>	<p>雑誌文化の危機と出版。電子書籍とリーダークラウドで喧伝される中で、日本の出版業界の現在とはどのような状況に置かれているのか。その構図を明確に浮かび上がらせながら、時限再販本市場の創出を提案する。</p>	<p>冊</p>
<p>出版状況クロニクルⅢ ——2010.3.～2011.12.</p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判並製／288頁 定価（本体価格2000円+税） 2012年3月刊 ISBN978-4-8460-1131-4</p>	<p>出版物売上高はピーク時の7割、書店数はピーク時の4割に。この数字が示す落差の意味を2年間にわたって探り、大震災前後の出版界を考え、出版業界の失われた十数年の内実を明らかにする。</p>	<p>冊</p>



▶ご注文先

FAX : 03-3264-5232

〒101-0051

東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル

TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア >> 出版

page 5/5

<p><b>出版状況クロニクルⅣ</b> ——2012.1～2015.12</p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判並製／728頁 定価（本体価格3000円+税） 2016年5月刊 ISBN978-4-8460-1528-2</p>	<p>雑誌・文庫の凋落、相次ぐ取次の破綻、激減する書店。多数の資料に基づき、背後にある図書館・ブックオフ・電子書籍等の問題に踏み込み、“出版の原点”を問うブログの集成！ 出版界に起死回生の策はあるのか？</p>	<p>冊</p>
<p><b>出版状況クロニクルⅤ</b> ——2016.1～2017.12</p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判並製／408頁 定価（本体価格2400円+税） 2018年5月刊 ISBN978-4-8460-1711-8</p>	<p>戦後出版史の基礎文献。1999年に『出版社と書店はいかにして消えていくか』で、現在の出版業界の危機的状況を「先取り」した著者が、2016～2017年の出版業界の動向をレポートし、その打開策を探る。</p>	<p>冊</p>
<p><b>近代出版史探索</b></p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／760頁 定価（本体価格6000円+税） 2019年10月刊 ISBN978-4-8460-1879-5</p>	<p>古本屋散策から見えてくるもの——。古本の世界を渉猟するうちに「人物」と「書物」が無限に連鎖し、歴史の闇に消えてしまった近代出版史が浮き彫りになる。失われた歴史を横断する〈知〉のクロニクル！</p>	<p>冊</p>
<p><b>近代出版史探索Ⅱ</b></p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／728頁 定価（本体価格6000円+税） 2020年5月刊 ISBN978-4-8460-1943-3</p>	<p>近代出版史の新たな探索を目指して——。前著『近代出版史探索』から続く、失われた戦前の出版史を探る200編。</p>	<p>冊</p>
<p><b>近代出版史探索Ⅲ</b></p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／704頁 定価（本体価格6000円+税） 2020年7月刊 ISBN978-4-8460-1963-1</p>	<p>人と本が描く隠された地図を探る冒険 前著『近代出版史探索Ⅱ』から続く、戦中の出版史を探る緊迫の200編。</p>	<p>冊</p>
<p><b>近代出版史探索Ⅳ</b></p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／696頁 定価（本体価格6000円+税） 2020年9月刊 ISBN978-4-8460-1985-3</p>	<p>右旋回する戦時下の出版の「探索」 前著『近代出版史探索Ⅲ』から続く、戦中の出版史を探る緊迫の200編。</p>	<p>冊</p>
<p><b>近代出版史探索Ⅴ</b></p> <p>小田光雄 著</p>	<p>四六判上製／684頁 定価（本体価格6000円+税） 2020年12月刊 ISBN978-4-8460-2008-8</p>	<p>近代出版史の千一夜物語ここに成る 801から1001の201編をおさめた本書では、戦中戦後の出版、とりわけ民俗学を取り巻いていた出版状況について記す。</p>	<p>冊</p>
			<p>冊</p>
			<p>冊</p>
			<p>冊</p>



▶ご注文先  
**FAX : 03-3264-5232**  
 〒101-0051  
 東京都千代田区神田神保町 2-23 北井ビル  
 TEL 03-3264-5254

書店様ご注文欄

貴店名・帖合

ご注文日 年 月 日

ご担当者様

冊数計

様

冊

■出版・メディア ≫ メディア

page 1/1

<p><b>メディアと権力</b>          ——情報学と社会環境の変革を求めて          ジェームズ・カラン 著／渡辺武達 訳</p>	<p>A5判上製／453頁          定価（本体価格3800円+税）          2007年4月刊          ISBN978-4-8460-0674-7</p>	<p>権力は情報を操作し民衆を動かしてきたか？ インターネットの出現をふまえて「メディア」の全体像を、歴史学・社会学・政治学の観点から解く、メディア研究の白眉。</p>	<p>冊</p>
<p><b>自由で責任あるメディア</b>          米国プレス自由調査委員会 著／渡辺武達 訳</p>	<p>四六判上製／205頁          定価（本体価格1800円+税）          2008年10月刊          ISBN978-4-8460-0692-1</p>	<p>「言論の自由」と「メディア倫理」——。膨大な調査・討議のもとに、「米国プレス自由調査委員会」によって1947年に刊行された、マスメディアの自由の現状と将来に関する報告書。メディアの社会的責任を論じた古典的道標。</p>	<p>冊</p>
<p><b>メディア・アカウンタビリティと公表行為の自由</b>          デニス・マクウェール 著／渡辺武達 訳</p>	<p>A5判上製／526頁          定価（本体価格3800円+税）          2009年11月刊          ISBN978-4-8460-0866-6</p>	<p>膨大な文献を比較検討してメディアのもつAccountability（責任履行）を理論的に解明する！ メディアの自由と公共性を問う、同志社大学メディアコミュニケーション研究センターのプロジェクト第三弾。</p>	<p>冊</p>
<p><b>戦後マスコミ裁判と名誉毀損</b>          片野勸 著</p>	<p>A5判並製／320頁          定価（本体価格3000円+税）          2010年2月刊          ISBN978-4-8460-0868-0</p>	<p>週刊誌・雑誌・新聞・テレビ等による名誉毀損とは？ 報道する側の「表現の自由」と、報道される側の「人権=プライバシー」の衝突であるとの視点からジャーナリズムの在り方を考える。</p>	<p>冊</p>
<p><b>メディアへの希望</b>          ——積極的公正中心主義からの提言          渡辺武達 著</p>	<p>四六判並製／232頁          定価（本体価格1800円+税）          2012年2月刊          ISBN978-4-8460-1141-3</p>	<p>情報化社会を生きぬく知恵。『サンケイEX』連載の好評コラムの60本はメディアと〈ネット社会・社会貢献・政治・ジャーナリズム〉の諸問題を縦横に語り尽す。「D・ハルバースタムとの対話」を特別収録！</p>	<p>冊</p>
<p><b>メディアリテラシーとデモクラシー</b>          ——積極的公正中心主義からの提言          渡辺武達 著</p>	<p>四六判並製／240頁          定価（本体価格1800円+税）          2014年6月刊          ISBN978-4-8460-1328-8</p>	<p>情報化社会の裏側に迫る。本書には2012～14年に『サンケイEX』に連載したメディア時評のうち40篇を収録。好評コラム集第2弾！「ピーター・アーネットとの対談」を特別収録！</p>	<p>冊</p>
<p><b>メディアと著作権</b>          堀之内清彦 著</p>	<p>四六判上製／360頁          定価（本体価格3800円+税）          2015年1月刊          ISBN978-4-8460-1374-5</p>	<p>著作権の実務に携わった著者は、冒頭で「著作権制度の歴史」を示し、「著作権法」を俯瞰した後、「出版・新聞・映画・インターネット・放送」と「著作権」の問題を、多くの文献に基づき解説する。</p>	<p>冊</p>
<p><b>交通情報の女たち</b>          室井昌也 編</p>	<p>四六判並製／276頁          定価（本体価格1500円+税）          2014年11月刊          ISBN978-4-8460-1385-1</p>	<p>「日本道路交通情報センターの〇〇さん」「はい、お伝えします。中央環状線では……」日々、耳にする「あのお姉さん」はどんな人？ 12人のインタビュー&amp;ON AIRの現場に密着取材。ラジオの定番、「交通情報」の裏側に迫る。</p>	<p>冊</p>
<p><b>家庭通信社と戦後五〇年史</b>          ——『生きろびき』と女性の生き方          関根由子 著</p>	<p>四六判上製／360頁          定価（本体価格2400円+税）          2018年8月刊          ISBN978-4-8460-1704-0</p>	<p>高齢化社会と女性の立場。1965年から地方新聞社各紙に「家庭欄」の記事を送り届けた家庭通信社は、2017年に幕を閉じる。1969年入社、89年に代表となった著者が、50年間の女性像の変遷を語る。</p>	<p>冊</p>
			<p>冊</p>